♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

6月に宇久井半島で見られるなかまたち！

「アゲハチョウ科　アオスジアゲハ」
開長 60-90㎜。飛翔力が高く速いスピードで樹木や花のまわりを飛び回る。幼虫の食草はクスノキ科の葉。

「タテハチョウ科　イシガケチョウ」
開長 45-55㎜。翅表の網目状の模様が特徴的。止まる時は翅を開く。
幼虫の食草はイヌビワの葉。

「アゲハチョウ科　モンキアゲハ」
開長 110-140㎜。日本最大級のチョウで後翅に黄白色の斑紋がある。幼虫の食草はカラスザンショウの葉。

☆「モクセイ科　ネズミモチ」☆
暖地の山地に生える常緑小高木。
木全体に真っ白な花の塊が散らばったようになり遠目にもよく目立つ。

☆「ヒガンバナ科 サフランモドキ」☆
メキシコ・グアテマラ原産の多年草。
パイナップルの栽培土に混入して渡来したと言われている。

☆「キク科　ヒメジョオン」☆
北アメリカ原産の帰化植物。種子の寿命が 35 年と長く驚異的な繁殖能力を持っている。

「アカバナ科　ユウゲショウ」
北アメリカ原産の多年草。明治時代に観賞用として渡来。花は 1-1.5cm。夕方に開花するが昼間も咲き残る。

☆「ドクダミ科　ドクダミ」☆
生薬として 10 種類の薬効を有していることから十薬（じゅうやく）とも言われている。

「キシメジ科　シイノトモシビタケ」
シイの朽木に生息する光るキノコ。
かさの直径は約 1-3cm。自然塾では毎週土曜日に観察会を行っている。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできますよ♪

ようこそ！　吉野熊野国立公園　宇久井ビジターセンターへ！
晴れ間には梅雨の時期ならではの動植物の観察をお楽しみください(^0^)／

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

宇久井ビジターセンター
2022 年 6 月前半号

吉野熊野国立公園
宇久井半島

夏版

＜散策時間の目安＞

○ビジターセンター～地玉の浜コース　（片道約15分）
❶ → ❷ → ❹ → ❺　約700m

○ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース　（片道約25分）
❶ → ❷ → ❸　約900m

○ビジターセンター周回コース　（一周約40分）
❶ → ❷ → ❹ → ❻ → ❶　約1200m

○ビジターセンター～千尋の浜コース　（片道約20分）
❶ → ❼ → ❽　約1200m

○ビジターセンター～外の取コース　（片道約20分）
❶ → ❼ → ❾　約1200m

フェリーターミナル方面
通行できません

クロサギ
千尋の浜
（上地の浜）

千尋の浜方面

メジロ
キジバト
ヒヨドリ
ウグイス

南紀勝浦
休暇村

至休暇村

外の取

N
W
E
S

至 R42

ヤブツバキ
ヤマモモ
トベラ
ビジターセンター
作業ヤード
アキグミ
ヤブツバキ
畑
竹林

マルバウツギ
上野展望台
防空監視哨
ヤマモモ
ヘラシダ
ヒサカキ
モチノキ
オガタマノナ
蛭子神社跡地
ヤブツバキ
ハゼノキ
（メジロがよく食べに来ます）

ヤブツバキ群生地
足元注意

自然観察の森

木のすき間から
海が見えます。

ヒサカキ
ホルトノキ
シロダモ
カラスザンショウ
イヌビワ
周回ルート
沢
シロダモ
ヒサカキ
アオノクマタケラン
クスノキ
竹林
松尾展望広場

赤灯台
スダジイ
トベラ
ハマオモト
ハマナデシコ
ハマゴウ
ハマナタマメ
トベラ
タイミンタチバナ
地玉（じごく）の浜
ヤブニッケイ
カンコノキ
水壺の跡
灯台まであと4分
ネズミモチ
ヒメユズリハ
モチノキ
タブノキ
モチノキ
木のすき間から浜が見えます。
モチツツジ

駒ヶ崎灯台

凡例
- 駐車場
- あずまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段